

材質

非結晶性ポリエステル材への推薦インキ

最近、塩ビの代替素材としてPET-G、PETEC（ペテック）、ペットエース等の非結晶性ポリエステル材（A-PET）が使用されるケースが増えてきました。

そこで今回、非結晶性ポリエステル材へ各種インキの印刷試験を行いました。

1. 溶剤型インキ

シリーズ名	用途	溶剤
900シリーズ テトロン	PET等	テトロン標準
3500シリーズ EXG	PVC等	EXG標準
8000シリーズ PC	PC等	PC標準
800シリーズ PAS	PS等	スチロール標準 #2標準

一般に次の様な場合に印刷表面にクラックが発生する事がありますのでご注意ください。

- 高濃度タイプのインキ（白、銀、蛍光色など）を用いる場合（特にEXO色は使用できません）
- 遅乾性溶剤を用いる場合
- 強制乾燥を行わず、自然乾燥で乾燥する場合
- 完全乾燥する前に後加工を行った場合

2. UVインキ

シリーズ名	用途	仕上がり	標準硬化条件
4200シリーズ PE	PC等	マット	500mJ/cm ²
4300シリーズ OP	紙、PC等	グロス	200mJ/cm ²
4700シリーズ M	PVC等	マット	200mJ/cm ²
4800シリーズ PS	PS等	グロス	500mJ/cm ²

- UVインキは有機溶剤を使用しないので、クラックの心配はありません。
- UVインキは接着性の確認試験のみを行っています。
- 4200PF及び4700Mは被膜が柔軟で、後加工性が良好です。
- 上記のデータは弊社試験（非結晶性ポリエステル材のクラック再現試験）に基づくものです。
- 印刷面積、膜厚、及び後加工条件等により結果が異なる場合があります。
- 印刷をする前には充分に確認テストを行って下さい。